

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。  
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいにあります。

## 秋吉台 猛暑つづき…8月もあるし…

雨がザーッと降ったり、晴れたりしているうちに、いつの間にか梅雨が明けました。何とも短い梅雨でした。暑さは梅雨の前から変わらないというか、それよりも増して暑くなりました。(まだ8月があるし…)秋吉台もようやく緑の草原になったものの、その根元には去年の枯れ草の層があるため、花たちはそれを突き破って伸びなければなりません。例年見上げるようなオオシシウドもどうか伸び上がってきました。今年は何んだか少し小さいように思えます。カセンソウなど他の花も小さいような気がします。

(写真は7月29日の北山のように)



## 季節の花 咲いたよ ツタのからまる～～

**ギンスジツユクサ** 畑や庭などどこにでも生えるツユクサ科の1年草。鮮やかな青い花を咲かせますが、午後にはしぼんでしまいます。白色花やウサギの耳に似た花など多様です。そのツユクサの葉に縞模様が入ったものがギンスジツユクサです。タネで繁殖するため模様があつたりなかったりといろいろです。

**ツタ** 野山や民家の近くでも生えるブドウ科のツル性木本。巻きひげの吸盤で樹木や壁などに登ります。花は淡い緑色で、よく見ないと分かりません。数日間毎日通って、ようやく見つけました。

**ノラニンジン** 秋吉台ではカルストロード沿いで見られるセリ科の多年草。小さな花がまとまって、大きな花のようになっているせいか、少しの風でもユラユラと揺れています。道路整備で刈り取られてしまうことがあります。また生えてきます。アスファルトの割れ目から生えている根性ノラニンジンもあります。



## 観察会「森の昆虫教室・クワガタムシ」7月13日

森の昆虫教室・クワガタムシ編を行いました。ようやく鳴き始めたセミの声を聞きながら講師の角田先生の解説でエコフィールドをまわり昆虫たちを観察しました。ウマノスズクサには、今年はジャコウアゲハの産卵がなく、幼虫は確認できませんでした。オニグルミの枝で見られるクワガタムシもいません。気温の上昇のせいで、涼しい所で過ごしているのかもしれませんが。レクチャールームにもどってクワガタムシについて学習した後、角田先生からヒラタクワガタのオス・メスのペアがプレゼントされると、子供たちは大喜びでした。夏休みの思い出に、お家で昆虫観察を楽しみましょう。



## マヤラン 3年ぶり 幻の花との再会

マヤランが咲いているとの情報をいただいて早速出かけました。大きな樹木のすぐ近くとのことで、こんな所にあるのだろうかを探し始めた時、足元にあるのを見つけました。気が付かなかつたら踏んでしまっていたかも知れません。ラン科の腐生植物で、ここで見た花は草丈が10cmほど、白い花には赤褐色の模様があります。この場所は何度も訪れたことがあるのに、今まで見たこともなかったし、また有るという認識もありませんでした。秋にも咲くとのことで、また出会いたいものです。



## オニユリ オレンジ色からレモン色へ変身？！

エコ・ミュージアムの生垣の中に生えているオニユリのムカゴを採って植えて、ようやく開花と思ったら、オレンジ色ではなくレモン色の花。実は去年も別の株に黄色い花が咲いたのですが、あまり気にしてなかったし、今年その株はツボミが虫に食べられてしまい、黄色の花が継続するのか確認できませんでした。そして今年は別の3株に黄色い花が咲きましたが、それ以外の兄弟株はオレンジ色でした。知人が訪れて、これは珍しいと写真撮影。花が終わった後、雌しべの一つがなんだかふくらんでいるようです。



暑中お見舞い申し上げます。  
猛暑の折、体調管理、無理をなさらずご自愛のほど。